



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社リログループ 上場取引所 東
コード番号 8876 URL <https://www.relo.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 中村 謙一
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 門田 康（TEL） 03-5312-8704
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	94,429	6.0	17,988	3.6	18,561	△5.9	12,641	△28.1
2023年3月期第3四半期	89,082	7.5	17,363	29.6	19,733	37.9	17,571	93.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	82.70	79.32
2023年3月期第3四半期	114.91	110.16

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	305,105	77,957	76,465	25.1
2023年3月期	322,691	69,819	68,615	21.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	37.00	37.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	135,000	9.1	27,700	21.8	29,000	12.1	19,000	△9.0	124.17

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 一 、 除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	153,016,200株	2023年3月期	153,016,200株
2024年3月期3Q	168,632株	2023年3月期	161,732株
2024年3月期3Q	152,852,391株	2023年3月期3Q	152,907,620株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は経済状況等の様々な不確定要素によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(子会社の売却)	13
(非継続事業)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、日本企業の海外進出が活発化し、企業のグローバルな競争が激化する環境下において、「日本企業が世界で戦うために本業に集中できるよう、本業以外の業務をサポートすること」、「真のサムライパワーを発揮できるよう、日本企業の世界展開を支援すること」、また、これらの活動を通じ、「これから始まる日本の大転換をサポートすること」という使命のもと、「世界規模で展開する『生活総合支援サービス』の創出」、「グローバル・リロケーションカンパニーNo. 1」というビジョンを掲げております。このビジョンの実現に向けて、2025年3月期を最終年度とする中期経営計画「新第三次オリンピック作戦」においては、国内市場シェアダントツNo. 1に向けた国内事業のさらなる強化に取り組むと同時に、世界の市場にリーチする土台作りにも挑んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業における管理戸数や福利厚生事業における会員数などのストック基盤が積み上がり、売上収益、営業利益が前年同期を上回りました。

なお、前年同期に株式会社リロクラブが出資する「PT. Venteny Fortuna International Tbk」がインドネシア証券取引所へ上場したことに伴う一過性の有価証券評価益を約15億円計上したことなどから、当第3四半期連結累計期間の税引前四半期利益は減益となりました。また、前年同期に同じく一過性の利益として非継続事業からの四半期利益を約49億円計上したことから、当第3四半期連結累計期間の親会社の所有者に帰属する四半期利益は減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、以下のとおりです。

売上収益	944億29百万円	(前年同期比	6.0%増)
営業利益	179億88百万円	(前年同期比	3.6%増)
税引前四半期利益	185億61百万円	(前年同期比	5.9%減)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	126億41百万円	(前年同期比	28.1%減)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

① リロケーション事業

当事業は、借上社宅管理事業、賃貸管理事業、海外赴任支援事業で構成され、国内外で日本企業の人の移動を総合的にサポートしております。借上社宅管理事業においては、借上社宅管理を中心に物件検索等による転居支援、留守宅管理等を手掛け、賃貸管理事業においては、賃貸不動産の管理や仲介をはじめとしたサービスを展開しております。また、海外赴任支援事業においては日本企業を支援すべく、北米をはじめとした現地において、赴任前から帰任に至るまで、海外赴任サポート等のサービスを総合的に展開しております。

当第3四半期連結累計期間は、借上社宅管理事業における管理戸数が増加したことに加え、賃貸管理事業では前第3四半期連結会計期間にグループ入りした賃貸管理事業会社の業績が好調に推移したことなどにより増収となりました。一方で、賃貸管理事業では前第2四半期連結会計期間に大型の物件売却があったことに加え、海外赴任支援事業ではインバウンド支援世帯数が減少したことなどから減益となりました。

これらの結果、売上収益652億74百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益108億23百万円（同1.2%減）となりました。

② 福利厚生事業

当事業は、企業の業務負担とコストを軽減し、様々なコンテンツを従業員へ提供する福利厚生代行サービスや、提携企業向けに顧客特典代行サービス等を提供しております。また、住まいの駆け付けサービスを手掛け、顧客会員の生活を総合的にサポートしております。

当第3四半期連結累計期間は、福利厚生代行サービスにおける会員の新規獲得が進み会費収入が増加したことに加え、住まいの駆け付けサービスが好調に推移したことから、増収増益となりました。

これらの結果、売上収益183億35百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益84億13百万円（同16.1%増）となりました。

③ 観光事業

当事業は、福利厚生事業の会員基盤や企業の保養所をはじめとした地方の中小型のホテル、旅館の運営ノウハウを活用し、ホテル運営事業と別荘のタイムシェア事業を展開するほか、後継者問題を抱えるホテル、旅館の再生にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、ホテル運営事業の平均客室単価が上昇したほか、第1四半期連結会計期間に複数の新規施設をオープンしたことなどから増収となりました。一方で、前第1四半期連結会計期間には大型物件の売却があったことから減益となりました。

これらの結果、売上収益100億83百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益16億56百万円（同15.3%減）となりました。

④ その他

当事業は、主力事業の基盤を活かし金融関連事業等を展開しており、売上収益7億36百万円（前年同期比1.6%増）、営業損失1億86百万円（前年同期は1億50百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比して175億85百万円減少し、3,051億5百万円となりました。

負債合計は、前連結会計年度末に比して257億23百万円減少し、2,271億48百万円となりました。

資本合計は、前連結会計年度末に比して81億38百万円増加し、779億57百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、想定通りに推移しており、2023年5月11日に発表した「2023年3月期決算短信」に記載の連結業績予想に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	43,695	41,793
営業債権及びその他の債権	85,197	62,723
棚卸資産	6,410	7,021
その他の金融資産	7,991	7,422
その他の流動資産	4,004	4,225
流動資産合計	147,298	123,186
非流動資産		
有形固定資産	14,240	14,737
使用権資産	29,632	29,953
のれん	15,795	16,480
無形資産	8,429	8,503
投資不動産	21,529	22,310
持分法で会計処理されている投資	39,889	40,219
その他の金融資産	33,244	37,018
繰延税金資産	11,707	11,640
その他の非流動資産	922	1,055
非流動資産合計	175,392	181,919
資産合計	322,691	305,105

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	20,765	6,898
社債及び借入金	29,808	33,544
リース負債	52,520	49,383
未払法人所得税	6,265	2,081
契約負債	8,785	6,463
その他の金融負債	17,261	17,914
引当金	334	—
その他の流動負債	4,956	3,345
流動負債合計	140,696	119,632
非流動負債		
社債及び借入金	51,963	45,435
リース負債	22,087	22,584
契約負債	18,979	19,820
その他の金融負債	8,779	9,630
引当金	7,843	7,998
繰延税金負債	1,827	1,281
その他の非流動負債	694	764
非流動負債合計	112,175	107,516
負債合計	252,871	227,148
資本		
資本金	2,667	2,667
資本剰余金	271	487
利益剰余金	58,141	65,759
自己株式	△56	△51
その他の資本の構成要素	7,592	7,603
親会社の所有者に帰属する 持分合計	68,615	76,465
非支配持分	1,203	1,492
資本合計	69,819	77,957
負債及び資本合計	322,691	305,105

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
継続事業		
売上収益	89,082	94,429
売上原価	49,887	51,320
売上総利益	39,195	43,109
販売費及び一般管理費	24,307	26,398
その他の収益	2,627	1,653
その他の費用	150	375
営業利益	17,363	17,988
金融収益	1,772	767
金融費用	548	1,008
持分法による投資損益	1,146	813
税引前四半期利益	19,733	18,561
法人所得税費用	6,470	5,585
継続事業からの四半期利益	13,263	12,976
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益	4,855	—
四半期利益	18,118	12,976
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	17,571	12,641
非支配持分	547	335
四半期利益	18,118	12,976
親会社の所有者に帰属する継続事業から 生じた四半期利益	12,715	12,641
親会社の所有者に帰属する非継続事業から 生じた四半期利益	4,855	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	17,571	12,641
1 株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)		
継続事業	83.16	82.70
非継続事業	31.76	—
合計	114.91	82.70
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		
継続事業	79.75	79.32
非継続事業	30.41	—
合計	110.16	79.32

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
継続事業		
売上収益	30,007	31,240
売上原価	16,816	17,012
売上総利益	13,191	14,228
販売費及び一般管理費	8,578	9,066
その他の収益	368	455
その他の費用	26	153
営業利益	4,955	5,463
金融収益	1,642	262
金融費用	220	419
持分法による投資損益	445	210
税引前四半期利益	6,822	5,518
法人所得税費用	2,273	1,658
継続事業からの四半期利益	4,549	3,859
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 又は損失(△)	△3	—
四半期利益	4,545	3,859
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,470	3,814
非支配持分	75	45
四半期利益	4,545	3,859
親会社の所有者に帰属する継続事業から 生じた四半期利益	4,473	3,814
親会社の所有者に帰属する非継続事業から 生じた四半期利益又は損失(△)	△3	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,470	3,814
1株当たり四半期利益又は損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益 又は損失(△)(円)		
継続事業	29.26	24.96
非継続事業	△0.02	—
合計	29.24	24.96
希薄化後1株当たり四半期利益 又は損失(△)(円)		
継続事業	28.06	23.90
非継続事業	△0.02	—
合計	28.04	23.90

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	18,118	12,976
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する資本性金融資産	301	△1,021
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	10	17
項目合計	312	△1,004
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△4,231	778
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	234	93
項目合計	△3,996	871
その他の包括利益合計	△3,684	△132
四半期包括利益	14,433	12,844
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	13,891	12,492
非支配持分	542	351
四半期包括利益	14,433	12,844

第3四半期連結会計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	4,545	3,859
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する資本性金融資産	255	127
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	5	2
項目合計	260	130
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,059	△705
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	36	1
項目合計	△1,023	△704
その他の包括利益合計	△762	△573
四半期包括利益	3,783	3,286
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,709	3,235
非支配持分	74	50
四半期包括利益	3,783	3,286

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2022年4月1日 残高	2,667	—	41,570	△57	10,304	54,485	657	55,142
四半期利益	—	—	17,571	—	—	17,571	547	18,118
その他の包括利益	—	—	—	—	△3,679	△3,679	△5	△3,684
四半期包括利益	—	—	17,571	—	△3,679	13,891	542	14,433
自己株式の処分	—	4	—	0	—	5	—	5
配当金	—	—	△4,436	—	—	△4,436	△49	△4,485
株式に基づく 報酬取引	—	204	—	—	53	258	—	258
その他	—	△0	△0	—	5	4	△2	2
所有者との 取引額等合計	—	208	△4,436	0	58	△4,168	△52	△4,220
2022年12月31日 残高	2,667	208	54,705	△56	6,683	64,208	1,148	65,356

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の 資本の 構成要素			
2023年4月1日 残高	2,667	271	58,141	△56	7,592	68,615	1,203	69,819
四半期利益	—	—	12,641	—	—	12,641	335	12,976
その他の包括利益	—	—	—	—	△148	△148	16	△132
四半期包括利益	—	—	12,641	—	△148	12,492	351	12,844
自己株式の処分	—	15	—	4	△19	0	—	0
配当金	—	—	△5,044	—	—	△5,044	△60	△5,105
株式に基づく 報酬取引	—	199	—	—	201	401	—	401
非支配持分の取得	—	—	—	—	—	—	△3	△3
その他	—	—	21	—	△21	△0	0	0
所有者との 取引額等合計	—	215	△5,023	4	159	△4,642	△62	△4,705
2023年12月31日 残高	2,667	487	65,759	△51	7,603	76,465	1,492	77,957

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、住宅分野とレジャー・ライフサポート分野の双方にまたがる企業福利厚生のアウトソーシングサービスを主力事業とし、その事業基盤を活かして賃貸管理事業やホテル運営事業なども展開しております。

各事業の概要は以下のとおりです。

- リロケーション事業：借上社宅管理業務アウトソーシングサービス、賃貸管理事業、海外赴任サポート、インバウンドサポート、駐在員規定・処遇コンサルティング等
- 福利厚生事業：福利厚生代行サービス、顧客特典代行サービス、住まいの駆け付けサービス等
- 観光事業：別荘のタイムシェア事業、ホテル運営事業等

(2) 報告セグメントの情報

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は市場実勢価格に基づいております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	63,258	16,036	9,063	88,357
セグメント間の売上収益	154	193	42	390
計	63,412	16,229	9,105	88,748
セグメント利益又は損失(△)	10,956	7,250	1,955	20,162

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期連結損益計算書計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	724	89,082	—	89,082
セグメント間の売上収益	124	514	△514	—
計	848	89,596	△514	89,082
セグメント利益又は損失(△)	△150	20,011	△2,647	17,363

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	リロケーション 事業	福利厚生事業	観光事業	計
売上収益				
外部顧客への売上収益	65,274	18,335	10,083	93,693
セグメント間の売上収益	139	254	57	450
計	65,413	18,590	10,140	94,144
セグメント利益又は 損失(△)	10,823	8,413	1,656	20,893

	その他(注1)	合計	調整額(注2)	要約四半期 連結損益計算書 計上額
売上収益				
外部顧客への売上収益	736	94,429	—	94,429
セグメント間の売上収益	147	598	△598	—
計	883	95,027	△598	94,429
セグメント利益又は 損失(△)	△186	20,706	△2,717	17,988

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり金融関連事業等です。

2. セグメント間の売上収益およびセグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去および全社費用によるものです。

(子会社の売却)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会において、SIRVAグループ(SIRVA Holdings, Inc. とそのグループ会社の総称)を所有するGlobal Relocation and Moving Services, LP(以下、「GRMS」という。)と連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始について合意をすることを決議し、同年7月29日に取引が完了いたしました。

(1) 子会社の売却による収入

	(単位：百万円)
対価	金額
受取対価	62,300
未収入金	△21,531
交換により取得したSIRVA Holdings, Inc. 優先株式(注)	△24,499
支配を喪失した子会社の現金及び現金同等物	△6,532
子会社の売却による収入	9,736

(注)株式交換により行われたため重要な非資金取引に該当します。

(2) 売却日における子会社の資産および負債

	(単位：百万円)
科目	金額
支配喪失時の資産の内訳	
流動資産	63,132
非流動資産	22,992
資産合計	86,125
支配喪失時の負債の内訳	
流動負債	61,973
非流動負債	4,477
負債合計	66,451

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(非継続事業)

当社は、2022年5月6日開催の取締役会において、SIRVAグループ(SIRVA Holdings, Inc. とそのグループ会社の総称)を所有するGlobal Relocation and Moving Services, LP(以下、「GRMS」という。)と連結子会社の異動(株式譲渡)およびグローバル・リロケーション事業の共同経営開始について合意をすることを決議し、同年7月29日に取引が完了いたしました。そのため、前連結会計年度においてBGRS Limitedおよびグループ会社22社を非継続事業に分類しております。

損益は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
収益(注)	30,777	—
費用	20,589	—
非継続事業からの税引前四半期利益	10,187	—
法人所得税(注)	5,332	—
非継続事業からの四半期利益	4,855	—

(注) 前第3四半期連結累計期間において、BGRSグループを譲渡したことによる売却益12,223百万円およびこれに係る法人所得税費用5,432百万円が含まれております。

キャッシュ・フローは以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,685	—
投資活動によるキャッシュ・フロー(注)	9,023	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,969	—
合計	2,307	—

(注) 前第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローには、子会社の売却による収入9,736百万円が含まれております。